

NYマーケットレポート (2021年10月28日)

2021年10月28日(木)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	28,820.09	-278.15	5.01%	USD/JPY	113.59	113.87	113.26
ハンセン指数	25,555.73	-73.01	-6.15%	EUR/JPY	132.70	132.70	131.56
上海総合	3,518.42	-43.89	1.31%	GBP/JPY	156.71	156.71	155.92
韓国総合	3,009.55	-15.94	4.74%	AUD/JPY	85.70	85.71	85.12
豪ASX200	7,430.38	-18.33	12.80%	EUR/USD	1.1682	1.1692	1.1582
シンガポールST	3,203.82	-14.35	12.66%	BRL/JPY	20.001	20.409	20.001
インドSENSEX	59,984.70	-1158.63	25.62%	RUB/JPY	1.614	1.617	1.598

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7,249.47	-3.80	12.21%	NY GOLD	1,802.60	+3.80	-5.11%
仏CAC40	6,804.22	+50.70	22.57%	NY 原油	82.81	+0.15	70.29%
独DAX	15,696.33	-9.48	14.41%	CBOTコーン	562.75	+5.50	16.45%
スペインIBX35	9,025.80	+53.50	11.79%	CRB指数	238.47	-0.477	42.12%
イタリアFTSE MIB	26,890.35	+84.16	20.95%	ドル指数先物	93.345	-0.457	3.79%
トルコ・イスタンブール100	1,522.04	+2.79	3.07%	VIX指数	16.53	-0.45	-27.34%
ロシアRTS	1,880.37	-10.91	35.53%				
南ア全株指数	67,759.75	+284.66	14.06%				

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	35,730.48	+239.79	16.74%	CME Bitcoin(先物・期近)	61430	58955
S&P500	4,596.42	+44.74	22.37%	Ripple(XRP) [BSTP]	1.065	1.013
NASDAQ	15,448.12	+212.28	19.86%	Ethereum [BSTP]	4255.48	3984.21
				Bitcoin Cash	587.21	558.23

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	オセアニア国債利回り	本日	前日
カナダ・トロント総合	21,197.53	+242.55	21.59%	オーストラリア10年債	1.852%	1.820%
メキシコ・ボルサ指数	51,248.84	-465.76	16.30%	ニュージーランド10年債	2.650%	2.622%
ブラジル・ボベスパ指数	105,705.00	-658.10	-11.19%	日本国債利回り		
				2年債	-0.096%	-0.084%
				10年債	0.093%	0.100%
				30年債	0.689%	0.699%

10/29 経済指標スケジュール	欧州国債利回り	本日	前日
08:30 【日本】9月失業率・9月有効求人倍率	ドイツ10年債	-0.136%	-0.178%
08:30 【日本】10月消費者物価指数[東京都区部]	英国 10年債	1.009%	0.986%
08:50 【日本】9月鉱工業生産	フランス 10年債	0.220%	0.170%
09:30 【オーストラリア】9月小売売上高	イタリア 10年債	1.050%	0.940%
09:30 【オーストラリア】3Q生産者物価指数	スペイン 10年債	0.520%	0.470%
14:00 【日本】10月消費者態度指数	米国債利回り		
14:00 【日本】9月住宅着工戸数	2年債	0.489%	0.503%
14:30 【フランス】3Q GDP	10年債	1.580%	1.541%
14:30 【フランス】9月消費者支出	30年債	1.981%	1.951%
15:00 【南アフリカ】9月民間部門信用			
15:45 【フランス】10月消費者物価指数			
17:00 【ドイツ】3Q GDP			
17:30 【英国】9月住宅ローン承認件数			
17:30 【英国】9月消費者信用残高			
17:30 【英国】9月住宅証券融資高			
18:00 【欧州】10月消費者物価指数			
20:00 【メキシコ】3Q GDP			
21:00 【南アフリカ】9月貿易収支			
21:00 【南アフリカ】9月財政収支			
21:30 【米国】9月個人所得・9月個人支出			
21:30 【米国】9月PCEデフレーター			
21:30 【カナダ】8月GDP			
21:30 【カナダ】9月鉱工業製品価格			
21:30 【カナダ】9月原料価格指数			
22:45 【米国】10月シカゴ購買部協会景気指数			
23:00 【米国】10月ミシガン大学消費者信頼感指数			

10/29 主要会議・講演・その他予定
・ G20 首脳会議 (30日~31日)
・ 欧州夏時間終了 (31日)
米第3四半期決算~シェブロン、エクソン・モービル、グッドイヤー、BNPパリバ、その他

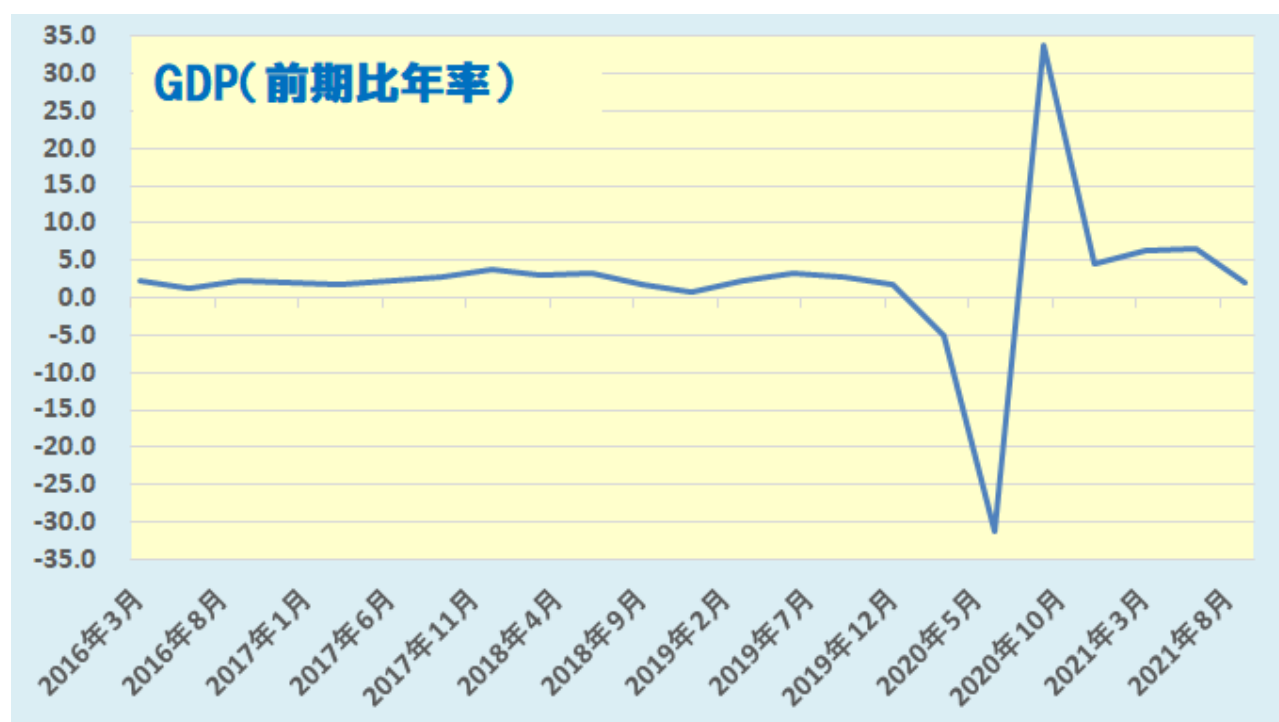
NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

3Q GDP（前期比年率） 2.0%（予想 2.8%・前回 6.7%）

3Q 個人消費（前期比） 1.6%（予想 0.8%・前回 12.0%）

7-9 月期の米 GDP の速報値は、5 期連続のプラス成長となったものの、市場予想を下回った。新型コロナウイルス変異株の感染拡大の影響で個人消費が伸び悩んだほか、サプライチェーンの混乱も加わり米国経済の回復ペースが鈍化していることが示された。個人消費では、耐久財が-26.2%（前期 11.6%）と大きく落ち込み、非耐久財も 2.6%（13.9%）と伸び幅が縮小した。また、サービスも 7.9%（11.5%）と低下したが、住宅投資は-7.7%（-11.7%）と下げ幅が縮小した。



データを基に SBILM が作成

新規失業保険申請件数 28.1万件（予想 29.0万件・前回 29.0万件⇒29.1万件）

失業保険継続受給者数 224.3万人（予想 241.0万人・前回 248.1万人⇒248.0万人）

米新規失業保険申請件数（10/23までの週）は、前週から-1.0万件と4週連続減少となり、新型コロナウイルスの感染が拡大した昨年3月以来、約1年7ヵ月ぶりの低水準まで改善した。一方、失業保険継続受給者数（10/16までの週）は、前週から-23.7万人と5週連続の減少となり、こちらも昨年3月以来、約1年7ヵ月ぶりの低水準となった。新型コロナワクチンの接種拡大を背景にした経済活動再開で、企業などの求人が高水準で推移していることが影響した。



データを基に SBILM が作成

9月中古住宅販売成約（前月比） -2.3%（予想 0.5%・前回 8.1%）

9月中古住宅販売成約（前年比） -7.2%（予想 ・前回 -6.3%）

9月の米中古住宅販売仮契約は、市場予想に反して2ヵ月ぶりに低下となった。住宅ローン金利の上昇が消費者の購入意欲を低下させた可能性があるとの見方が示された。地域別では、中西部が-3.5%、北東部が-3.2%、南部が-1.8%、西部が-1.4%とすべての地域で低下した。



データを基に SBILM が作成

ダウ平均は反発、ナスダックは4営業日続伸

米株式市場では、米国の主要企業の好決算が続いたことや、序盤に発表された米新規失業保険申請件数が約1年7ヵ月ぶりの低水準に改善したことが好感され、主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比251ドル高まで上昇した。引けにかけてやや上げ幅を縮小し、239.79ドル高(+0.68%)で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックも序盤から堅調な動きとなり、9/7以来の史上最高値を更新した。終盤まで堅調な動きが続き、212.28ポイント高(+1.39%)で終了して4営業日続伸、終値ベースの最高値も更新した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	金融	1.10%	1	メルク	6.14%
2	素材	1.02%	2	キャタピラー	4.06%
3	テクノロジー	0.96%	3	アップル	2.50%
4	エネルギー	0.94%	4	JPモルガン・チェース	1.51%
5	ヘルスケア	0.74%	5	ナイキ	1.30%

データを基に SBILM が作成

ユーロは対ドルで 9/28 以来の高値を更新

NY 市場では、序盤に発表された 7-9 月期の米 GDP が市場予想を下回る伸びとなったものの、新規失業保険申請件数が昨年 3 月以来、約 1 年 7 ヶ月ぶりの低水準まで改善したことが好感され、ドルは底固い動きとなった。そして、ECB 理事会後の定例会見で、ラガルド ECB 総裁が「経済リスクは概ね均衡」「PEPP は 2022 年 3 月で終了予定」との発言がタカ派的と受け止められてユーロ買いが優勢となった。ユーロは対ドルで 9/28 以来の高値を更新するなど、主要通貨に対して上昇となった。一方、ドルは対ユーロで下落したことや、米長期金利が低下したことから、対円でも 10/14 以来の安値となった。その後は、ナスダックや S&P500 が史上最高値を更新するなど、米主要株価指数が堅調な動きとなったことから円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きが続いた。さらに、米長期金利が持ち直したこともドルの下支え要因となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。